

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハート東海津北				公表日 2025年 12月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・利用者定員10名に対して必要な規定面積の約3倍である	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・日ごとに人員配置の確認をしている	全指導員が人員配置を理解している
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・子どもにわかりやすい環境になっている ・支援開始前後に打ち合わせを行い情報伝達を行っている	現在バリアフリーを必要とする利用者がいないが、必要に応じて対応していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日掃除を行い、清潔な環境にしている ・子どもの活動に合わせた空間を作っている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個々の子どもの活動に合わせて部屋や場所を使い分けている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・全職員が参加している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・親子イベントや土曜日利用について等アンケートを行い、保護者にニーズを参考にしている	今後も保護者アンケートを実施し、できる限り保護者のニーズに対応していく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			日ごろから職員間で意見を出し合える環境を作っている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・県の主催する研修や本部研修に参加している	研修に参加できる時間を確保し、全職員で共有していく
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・普段から保護者との連携を図り、子どもの姿を共有している	今後も保護者との連携を大切にしていく
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・個別支援計画の作成には全職員が参加している	児童発達支援管理責任者だけでなく、各職員からの意見も大切にし検討していく
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・毎月個別支援計画を確認する時間を設けている。また、いつでも確認できるようファーリングしている	全職員で個別支援計画を共有することで、計画に沿った支援が実施できるようにしていく
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」を設けている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・季節に応じた活動を取り入れている	子どもが興味を持った活動を中心に、季節に応じた活動等を取り入れ、固定化しないよう努めていく
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・活動の幅を広げ、様々な景観ができるようにしている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎日支援開始前に打ち合わせを行い情報共有している	今後も支援開始前の打ち合わせを行い、支援内容や連絡事項等の情報共有、役割分担を行っていく
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・毎日支援終了後には全職員で振り返りをし、情報共有をしている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・個別支援日誌を毎日書いている	今後も日々の記録を支援の改善につなげていきたい
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年毎に全職員でモニタリングを行い、個別支援計画を作成している	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・子ども自身で活動を選択する時間を設けている	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・個別支援計画を作成する児発管が参加している	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・必要に応じて医療機関や学校等と情報共有している	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校との連携を図り、子ども、保護者が安心して利用できるようにしている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		小学校との情報共有は行っているが就学前に利用していた保育所等とは行っていない。必要な場合には行っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		放課後等デイサービスから移行する場合には障害福祉サービス事業所等から問い合わせがあった際には情報提供していく
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		必要に応じて専門機関と連携していく
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5			運動場や公園、川遊び等で放課後児童クラブや地域の子どもと活動している
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時や連絡ノートでその日の様子等を伝えている	今後も保護者との情報共有を密にしていく
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・半年毎に面談の際に行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・半年毎に個別支援計画の面談を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者から相談があつた際には、必要に応じて面談を行ったり、助言、支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	・保護者に親子イベントについてアンケートを行ったが「必要ない」という意見が大半であった為、今年度は中止した	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情窓口については契約書に記載している ・送迎時等に保護者とは話す機会を作り、意見を聞くようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月通信を配布し、活動や行事を伝えている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報は鍵付き棚で保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・感染防止の為行っていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルを策定し、訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPを策定し、避難訓練等を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・毎年保護者に服薬、てんかん発作、アレルギーの確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・現在食物アレルギーの利用者がいないが、該当者がいる場合、全指導員の共通理解に努める	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し研修や訓練を行い、安全管理に努めている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・保護者に緊急連絡先を確認しファイリングしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・事例があつた場合には書類を作成、全指導員で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・県が主催する虐待防止研修に参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・現在身体拘束を必要とする利用者がいない	

公表

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		チャイルドハート東海津北							公表日	2025年12月1日	
		利用児童数			15人			回収数			
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					放課後等デイサービスのスペースは「子ども1人あたり2.47m」と定められています。定員10名の場合は24.7mとなります。チャイルドハートは約3倍の71.96mです			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14					全ての職員が有資格者です			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					毎日掃除を行っています。また、活動に合わせて支援室を使い分けています			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14								
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				すごくわかってくださっていると感心します	定期的に全職員でお子様1人1人の課題の見直し、作成会議を行っています			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	14				いつも子どもたちの様子をしっかりと観察し、都度適切な言葉掛けや指導を行っていただいたり、支援計画を作成していただき丁寧な対応でいつも感心すると共に感謝しております	個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」を設定し、支援内容を設定しています			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				計画の変更もきちんとしてくださっています	毎月全職員で個別支援計画を確認し、計画に沿った支援を行えるようにしています			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					し、いろいろな活動ができるように工夫すると共に、興味を持った活動にしっかり遊び込めるようにしています			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14					公園や川遊び等で地域のお子様と関わっています			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14								
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					年2回の面談の際に個別支援計画の支援内容について説明を行っています			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	2					
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				子どものことで気になる事があつても相談しやすく、親身になって対応していただけるので心強く思っています	連絡ノートや送迎時にお子様の様子をお伝えしています			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					年2回の面談、必要に応じて相談を行っています			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	3	3		親子イベントについて保護者様にアンケートを行ったところ「必要ない」という意見が大半であった為、中止しています			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					保護者様との連携を大切にしています。また、苦情対応については契約書に記載しています			

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	14					送迎時や連絡ノート、お便り、LINEを活用しています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14			通信、毎月楽しみです		毎月『チャイルドハート通信』を配布し活動を伝えています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					個人情報は鍵付き棚で保管しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14					各マニュアルを作成し、研修や訓練を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14					令和7年度は7月24日・29日・8月2日に訓練を実施しました
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					安全計画を策定し、安全に利用していただけるようにしています。また、毎年川遊びの前には指導員が河原の草刈りを行っています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					毎年緊急連絡先を保護者様に確認し、緊急時に活用できるようにしています
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14			親も安心できる場所になっています		お子様にとって事業所が『安心できる場所』となるよう信頼関係を築き支援していきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1				楽しく活動に参加することが成長につながっていくよう支援していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			通所開始から変わらない対応でとてもありがとうございます		お子様、保護者様に満足していただけるよう支援していきます